

令和7年度 事業報告

東京都建設防災ボランティア協会は、都内に大規模な地震が発生した場合に、東京都建設局等に協力して公共土木施設等の被災情報の収集、応急復旧などの支援活動を行うことを目的として、東京都建設局、東京都道路整備保全公社及び東京都公園協会の協力・支援を得て、平成9年6月に発足し、29年目を迎えました。

平成11年度からは、大規模土砂災害の発生時に、東京都などに対し積極的に支援活動を行うために、砂防ボランティア制度を当協会内に併設しました。

また、平成15年度からは「東京都地域防災計画 震災編」及び「同 風水害編」において、当協会は建設局に関連する災害ボランティア団体と位置付けられ、発災時の活動が期待されています。

令和7年度は、令和7年5月28日に開催された定期総会で決定された「事業計画」に基づき、感染症や熱中症対策に十分配慮し、次のような諸活動を行いました。

I. 防災訓練

大災害が続いた平成から令和に入りましたが、毎年、豪雨や大規模地震による災害が多く発生しています。

令和元年9月に台風15号（令和元年房総半島台風）が上陸し記録的な強風による送電鉄塔の倒壊等により千葉県では大規模停電が発生、10月には台風19号（令和元年東日本台風）が上陸し記録的な大雨により、関東（多摩川流域・日原の崖崩壊他）・甲信（千曲川の決壊等）・東北（阿武隈川決壊等）各地方で広範囲にわたり河川の決壊・土砂災害が発生し、多くの尊い命が奪われています。また、令和2年7月には熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が 발생し、特に熊本県（熊本豪雨）では球磨川水系の氾濫で多くの尊い命が奪われています。令和4年1月には、トンガ大規模噴火津波により10県で船の沈没や養殖施設の損壊・魚の大量死など大きな被害が生じました。さらに、3月16日23時36分福島県沖を震源とするM7.4最大震度6強の地震が発生し東北新幹線が脱線するなど大きな被害が発生しました。

令和5年度は、6月～7月にかけて発生した大雨により、全国で人的被害93名・住家被害25、262件が記録されています。このような中、年明けの令和6年1月1日16時10分頃震度7（M7.6）の地震が能登半島で発生（令和6年能登半島地震）し、津波被害・斜面の崩壊・建物破壊・液状化などにより甚大な人的被害・家屋被害・インフラ被害が発生しました。被害からの復興を目指している中9月には、線状降水帯による大雨が能登地方を襲い、地震で傷んだ地質状況も影響し、大きな災害が発生しました。

令和6年8月8日には、宮崎県日向灘でM7.1の地震が発生し「南海トラフ地震臨時情報」が発出され、社会生活にも大きな影響を与えました。令和7年は、大船渡大規模林野火災（令和7年2月～4月、延焼範囲3,370ha：平成以降最大）など少雨の影響により日本各地で林野火災が発生しました。

11月には熊本・大分県で震度5強、12月には青森県八戸市で震度6強の地震がありNTT八戸ビルの鉄塔が損壊し、周辺交通等に障害が発生しています。豪雨による災害としては、7月の記録的大雨で、東京23区西部では床上・床下被害、10月には台風による豪雨・強風により八丈島・青ヶ島の広

範囲で断水・停電等の被害が発生しています。

幸い東京では人的被害を伴う、大きな災害は発生していませんが、日頃の訓練を充実させることが重要であると意識させる自然災害が日本中で発生しています。

令和7年度の総合防災訓練・初動対応訓練においては、それぞれの課題に対応した実践的な訓練が実施されました。

1. 東京都総合防災訓練

令和7年度は、多摩東部を震源とする首都直下地震（マグニチュード7.3）の発生を想定した、東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練が、東京都・羽村市・日の出町が合同で、8月30日（土）・31日（日）に羽村市宮の下運動公園と日の出町民グラウンドの二会場で開催されました。31日（日）には羽村会場の道路警戒訓練、日の出会場の展示・体験訓練に協会7名が参加しました。

2. 建設局初動対応訓練

令和7年度建設局初動対応訓練は、令和8年2月3日（火）に実施されました。

本訓練は、建設局職員の災害発生時における対応能力向上を図ることを目的に、本庁勤務職員はもとより、事務所勤務職員、水門管理住宅・水防住宅入居職員を対象とした大規模な訓練です。東京都心南部地域を震源とする大規模な地震（M7.3 最大震度6弱）が2月3日午前7時に発生し、都内で広域的な被害が発生しているとの想定に基づき行われました。

今回の訓練では、インターネット環境がある状況で、電子データによる情報連絡訓練が実施されました。点検現場からは、防災無線・携帯電話・ハザードトーク・ウェアブルカメラ等の利用可能な通信手段を活用し事務所に報告する訓練が行われました。

例年通り協会にも協力依頼があり参集事務所班ごとに参加会員を募り、総勢77名が訓練に参加しました。初動対応に関する協定等の変更後行われた今回の訓練では、参加会員から実際の発災時における様々な意見が寄せられており、協会としてより現実的、効果的な支援について、今後建設局と協議し検討していきます。

II. 講習会・見学会等

発災時の活動に活かせるよう災害や防災に関する知識・情報を得るため、各種講習会や大規模事業等の現場見学会を実施しました。令和7年度の実施結果は次の通りです。

1. 普通救命講習会

令和2年度から、協会としての講習会は実施しておりません。なお、「普通救命講習会」は、日本赤十字社、東京消防庁、各消防署、（公財）東京防災救急協会等で実施しています。個人として受講してください。受講された方は協会から費用の助成が受けられます。

2. 施設見学会

令和7年度の施設見学会は、令和7年11月27日（木）に実施されました。

場所は、第三建設事務所管内で整備が進む「環状7号線地下広域調節池（石神井川区間）」工事の現

場です。協会員33名が参加しました。

シールドマシンの再掘進を12月上旬に控えた多忙な時期にもかかわらず、第三建設事務所の山崎所長、大友工事二課長ほか関係職員の方々よりインフォメーションセンターにて工事状況の説明を受け、その後発進立坑を下りシールドトンネル内をご案内いただきました。

※（・シールドマシン：径13.45m、重さ約2,500t ・セグメント内径12.5m）

掘進中に面板が閉塞し掘進速度を抑制せざるを得ない状況となりビットの摺動距離（ビットの軌跡）が増加し、ビットの摩耗が増進したことから、ビットの配置及び形状を変更しビットの取り換え（ビット撤去900個・設置600個）を実施しているとのことでした。見学時は、発進立坑である妙正寺川取水施設から1.4Km掘進した豊玉中間立坑付近で作業は行われていました。作業範囲を凍結工法で凍結した中での作業でした。掘進に伴う地上への影響に関しては、地盤沈下測定の結果は±10mm程度で規格内であり慎重な施工と技術力の高さを大いに感じました。本工事の完成により、既設の白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池が連結され総延長13.1Km、合計140万m³を超える貯留量を確保できます。さらに、白子川・石神井川・妙正寺川・善福寺川・神田川の計5河川にまたがり複数の流域間で相互に連携することで時間最大100mm対応ができるようになります。2年後の2027年度末暫定取水開始に向け引続き工事の安全施工を祈念したいと思います。

当日は、参加人員の関係で時間差を設け、2班に分かれて対応していただくなど、お忙しい中、現場見学会を開催していただいた第三建設事務所挙げての対応に改めて御礼申し上げます。

Ⅲ．建設局等の行事への参加・協力

災害時に備えて行う防災訓練のほか、常時の活動を通じて建設局と協会との連携を強め、また会員相互の連帯感・一体感を強化していく目的で、建設局が主催・共催している各種事業に積極的に参加しました。

1．道路施設等点検

道路施設等点検は、道路本来の機能維持とバリアフリーという観点から多くの目で点検し、対策を講ずることを目的に、例年は、前期と後期の2回行われていましたが、今年度は、道路管理部との調整から後期のみの実施となりました。この業務は会員にとっても、日頃から管内道路事情を把握することにより発災時に役立つことが期待できることから、平成15年度後期より全建設事務所の点検業務に参加しています。また、平成26年度から道路管理部長名の協力依頼文を受け行っています。

令和7年度は、区部・多摩含め11建設事務所で55名の会員が参加しました。

2．「河川愛護月間」行事等

今年度の河川愛護月間行事は、7月5日の「環七地下の巨大トンネルを体験」を皮切りに、10月の「川を歩こう（4河川）」まで、10の行事に参加しました。当協会からは、延べ人数で35名が参加しました。

3．砂防講習会

砂防講習会は、協会で砂防ボランティアとして登録している会員を中心に、建設局河川部の協力を得

て東京都の砂防対策や危険個所の実情・取り組みなど、最新の状況を学ぶ機会として実施しています。

令和7年度は、令和8年2月16日（月）に開催された、河川部主催の「東京都土砂災害対策連絡会（後期）」（オリンピック記念青少年センターで開催）での講演を聴講する形で実施しました。「新しい防災気象情報について」と「JETT（気象庁防災対応支援チーム）について」（講師；気象庁）協会員7名が聴講しました。

4. 勝どき橋ミニツアー

平成17年5月12日に第1回の案内を開始してから20周年となるため、記念誌「勝鬨橋ミニツアー活動20年間の歩み」を作成し、協会員、建設局及び道路整備保全公社に配布しました。また建設局及び道路整備保全公社から、長年の活動に対する感謝状を頂きました。

また8月28日にはミニツアー参加者延べ1万人を達成しました。当日参加された子供も含む6組16名の見学者に、相場会長から勝鬨橋の写真入りのドロップ缶等の記念品を手渡しました。

しかしながら勝鬨橋の長寿命化工事が9月に始まったため、以降7か月間の中止を余儀なくされました。このため代替活動として公園協会の水上バスを利用する「隅田川著名橋等ツアー」を実施しましたが、水上バスの運行状況等により2回の開催に止まったことは非常に残念でした。アンケートでは、両ツアーともほとんどの参加者から「大変満足」との評価をいただいています。工事は無事3月末に終了し、ミニツアーは4月から予定通り再開されることとなりました。

恒例の研修会は11月14日（金）に道路整備保全公社で開催し、来賓、会員合わせて47名が参加しました。道路管理部保全課の喜多野課長代理より勝鬨橋の修繕計画についての報告、「浮世絵を彩った橋」と題した道路整備保全公社の紅林道路多摩橋梁担当課長の講演により大いに知見を広めるとともに、それに続く懇親会では、情報交換に歓談にと有意義な時間を過ごしました。

5. 「東京 橋と土木展」と「土木コレクション」（土木学会主催）

土木の日（11月18日）に合わせたイベント「東京 橋と土木展」（同時開催：土木学会主催「土木コレクション」）が令和7年11月20日～22日まで3日間、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催され8名の会員が参加しました。

「橋と土木展」では、昨年に引き続き、「橋の魅力を知る」というテーマのもと、120点を超える橋の浮世絵（道路整備保全公社：紅林課長所有）や隅田川橋梁群のライトアップ写真、品川エリア開発前のジオラマが展示されていました。また、環状4号線の送り出し架設のビデオ、築地大橋の台船一括架設のビデオなど、盛りだくさんの内容でした。

さらに、「土木コレクション」では、昭和100年の節目の年であることから、これまでに造ってきたダムなどの大型インフラの模型や写真、台湾土木遺産なども展示され、老若男女・親子連れや若いカップルなど多くの方が見学に来ていました。毎回好評の道路整備保全公社の紅林章央さんの講演会は、用意された50席はすべて埋まり沢山の立ち見の方々が熱心に聴講していました。

来場者数は、3日間合計で約4万2千人でした。

IV. その他協会業務等

1. 会員の被服等購入助成

協会ではボランティア活動を安全・円滑に行うため、統一的な被服（帽子、ブルゾン、ズボン、ヘルメット、防寒服）を整えるべく、購入を希望する会員に「防災携行品特別会計」から助成を行っています。令和7年度は新規会員等13名にブルゾン等（防災服13人分・防寒服9人分）の購入・助成を行いました。

2. 協会ニュースの発行とホームページの公開

協会の活動状況を逐次会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図る目的で「建設防災ボランティアニュース」を年間4号発行しています。紙面は協会の活動に参加された会員の活動報告や投稿をいただいた記事で構成しています。

令和7年度は、88号から91号までの4号を発行することができました。さらに、「勝どき橋ミニツアー活動20年間の歩み」を令和8年1月15日に発行しました。

記事を執筆いただいた会員の皆様には心より感謝いたします。

発行したニュースは、会員をはじめ、会の運営に理解と協力を頂いている建設局の関係部及び各事務所、並びに東京都道路整備保全公社、東京都公園協会にお届けしています。

また、協会活動の会員への速報性と、活動のデータ保存を兼ねて開設している当協会のホームページ「東京都建設防災ボランティア協会掲示板」(<http://tokyo-adv2.info/>)を、今年度も逐次更新しながら公開してきました。また、建設局総務課広報担当の支援を得て、今年度も「けんせつ局報」の4月号から毎号を当ホームページに掲載し、会員が常時閲覧(パスワード: kyokuhou)できるように致しました。

3. 建設局幹部との交流会

平成23年から行われている建設局主催の東京都建設防災ボランティア協会に対する「感謝の会」が新年明けの令和8年1月9日（金）に開催されました。

会場は、都庁第一庁舎32階職員食堂でした。いつもの場所で和やかに懇親の集いが始まりました。中尾総務課長の司会のもと、はじめに花井局長の冒頭のご挨拶がありました。各種防災訓練や道路施設点検、「河川愛護月間」行事や、「勝どき橋ミニツアー」、「東京 橋と土木展」等への協力に対する感謝の他。昨年8月の「東京都総合防災訓練」への参加、特に道路啓開作業での機敏な対応への感謝と、今年2月実施予定の建設局初動対応訓練への協力依頼もいただきました。荒井次長、久野道路監をはじめ、本庁各部長、各事務所長など多くの幹部職員32名が、当協会からは相場会長以下63名の会員が参加し、総勢95名が参加しました。

荒井次長の乾杯で懇親会が始まり、出張先から駆け付けた久野道路監から、今後もボランティア協会の発展を目指していくご挨拶があり、盛大な3本締めで、大いに盛り上がった感謝の会はお開きとなりました。

本会の開催にご尽力いただいた建設局の皆様と、参加された会員に感謝申し上げます。

なお、上記活動内容の詳細は別表のとおりです。

具体的な活動経過

時 期	項 目	内 容
R7. 4. 18	7年度 第1回 理事会	・新規役員予定者の紹介 ・事業計画内容の確認 ・総会開催について 他
R7. 5. 28	第29回定期総会	・6年度 事業報告収支決算報告 ・7年度 事業計画（案）収支予算（案） ・7年度 リーダー指名 その他
R7. 5. 28	第1回砂防ボランティア 全国連絡協議会	・【於】砂防会館別館3階「六甲」 ・定期総会と重複のため欠席
R7. 6. 10	第26回 砂防ボランティア 全国の集い	・【於】宮城県仙台市 仙台サンプラザ3階 ・1名参加 「クリスタルルーム」
R7. 6. 23	7年度 第3回理事会及び 第1回リーダー会	・理事及びチームリーダーの紹介 ・各行事の予定表 ・活動報告書、緊急連絡表の作成 他
R7. 7～10	河川愛護月間行事支援参加	・「環七地下の巨大トンネルを体験」や「川を歩こう」などの11行事に参加 ・延べ35名が参加
R7. 7. 10	7年度第4回理事会(web)	・新規会員の紹介 ・その他
R7. 7. 31	7年度第5回理事会(web)	・新規会員の紹介（1名）
R7. 8. 28	・勝どきミニツアー見学者1万人達成記念	・勝どき橋「橋の資料館」にて
R7. 8. 31	・東京都・羽村市・日の出町 合同総合防災訓練	・「リハーサル」8/26 西建班3名参加 ・8/31 本番当日協会員7名参加
R7.10.7～R8.2.14	道路施設等点検	・11建設事務所（全建設事務所） ・延べ55名参加
R7. 10. 30	勝どき橋著名橋ツアー	・勝どきミニツアー休止に伴い実施 ・浅草二天門～ウオーターズ竹芝間 ・10月30日・11月20日 協会員32名
R7. 11. 14	勝どき橋ミニツアー研修会	・勝どき橋の修繕計画について ・講演「浮世絵を彩った橋」紅林章夫氏 ・38名参加

時 期	項 目	内 容
R7. 11. 12	第2回砂防ボランティア 全国連絡協議会	・【於】砂防会館別館3階「六甲」 ・1名参加
R7. 11. 14	勝どき橋ミニツアー研修会	・勝どき橋ミニツアーの開催状況 ・講演「浮世絵を彩った橋」協会員34名参加
R7. 11.20 ～22	東京橋と土木展 土木コレクション 【場所：新宿駅西口広場】	・「橋の魅力を知る」テーマのもと 浮世絵、墨田川橋梁のライトアップ写真の展示等 ・延べ8名の会員が参加
R7 11. 27	施設見学会の開催	・三建管内 環状7号線地下広域調節池 (石神井川区間) 工事 ・会員 33名参加
R7. 12 9	令和7年度 第9回理事会	・7年度新規入会者、退会者の報告 ・活動報告書の提出について ・その他
R8 1. 9	建設局主催「感謝の会」の開催	・【於】都庁第一庁舎 32F ・【会員 63名参加 局側 32名参加】
R8 1 27	令和7年度 第12回理事会 (web)	・新規入会会員の紹介 ・今後の予定 ・その他
R8. 2. 3	初動対応訓練	・各建設事務所の訓練に参加 ・参加会員 77名
R8. 2. 16	砂防講習会	・オリンピック記念青少年センター ・協会員7名参加
R8. 2. 24	7年度 第13回理事会 (web)	・新規入会会員の紹介 ・退会者の確認 ・その他
R8. 3. 24	7年度 第14回理事会	・会員継続確認結果の報告 ・R8事務事業計画の作成について ・その他
R8. 3月	会員登録事務	・登録継続の会員及び新規会員対象
R8. 3月	ボランティア保険継続加入	

道路施設等点検参加一覧表

事 務 所	実施日	参加協会員
一 建	11/7・11/11	2 名
二 建	10/31・11/5	3 名
三 建	12/5・1/29・2/4・2/6・ 2/10・2/12	10 名
四 建	1/29～2/14	7 名
五 建	12/12・1/9・1/28	3 名
六 建	11/11～12/12	6 名
西 建	12/18	4 名
南東建	11/21	8 名
南西建	10/27	4 名
北南建	10/14・11/5・11/6・11/13	4 名
北北建	11/25	4 名
計		55 名

※実施時期 10/14～2/14

令和 7 年度 「勝関橋見学ミニツアー」 支援活動表

活動月	活動日数 (日)	活動者数 (人)	見学者数 (人)	備 考	
4 月	4	18	64		
5 月	5	22	43		
6 月	4	17	31		
7 月	5	24	48		
8 月	3	14	36		
9 月				9 月以降、工事に伴いツアー中断	著名橋ツアー研修会 (参加会員 41 名)
10 月					著名橋ツアー (参加会員 16 名)
11 月				11 月 14 日 研修会開催 (参加会員 34 名)	著名橋ツアー (参加会員 16 名)
12 月					
1 月					
2 月					
3 月					
計	21	95	222		* 累計活動状況 活動日数 686 日 活動者数 3,076 人 見学者数 10,001 人

参考 R6 年度「勝関橋見学ミニツアー」支援活動

活動日数	活動者数	見学者数	備 考	
47 日	215 人	469 人		